

婦人服地の最適シルエットデザインとその客観評価

○井上尚子* 丹羽雅子**

(*梶山女学園大 **奈良女大)

目的：婦人服地の力学的性質から婦人服の最適シルエットデザインを予測し、そのシルエットの美しさの客観的な評価値を導く方法を提案する。

方法：婦人服のシルエットを大きく3分類する方法¹⁾を採用する。すなわち、ドレープ、張り、テーラードタイプで、婦人服地の引張り、曲げ、せん断特性と平面重さを用いて判別する。1995年～1998年の春夏・秋冬用の婦人服地を国内外から広範に収集し、各シルエットグループの判別値分布が1.5標準偏差値内試料を各シルエットグループそれぞれ182、154、134試料選んで、各シルエットタイプ別にテキスタイルデザイナー、アパレルデザイナーによる布地 Total Appearance Value(TAV評価値1～5)の官能評価を実施し、官能評価値と布の力学的性質の関連づけを行って、婦人服として最適シルエットデザインの得られる布地の選別や布地の設計、製造に実用するための、簡便で、かつ精度よい評価式を導く。

結果：1995年～1998年にエレガンス²⁾から収集したサンプルについては、その布で構成された衣服の写真から判断されるシルエットと判別値とは91.8%の判別的中率で、良好な一致の得られることを確認した。3つのシルエットタイプ別にTAVを高感度条件で測定した布の引張り特性、曲げ、せん断特性と布の平面重さの組み合わせ値から誘導し、各シルエットの美しさを支配する力学特性の明確化をはかった。

文献1) Niwa, M., Nakanishi, M., Ayada, M., and Kawabata, S., *Optimum Silhouette Design for Ladies'*

Garments Based on the Mechanical Properties of a Fabric, Textile Res. J. 68(8)578-588(1998).

2) Geicke-Mathews, Evelyn C., *Elegance Paris, Automne/Hiver '95/96 (1995)-Printemps/Ete '98(1998)*